

令和6年度 共興小学校学校評価（後期結果・考察）

令和7年2月27日

1 学校評価とは

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

2 学校評価の方法

学校評価には、(1)「自己評価」、(2)「学校関係者評価」、(3)「第三者評価」の3つがあり、(1)並びに(2)は実施と教育委員会への報告が義務づけられています。(3)は任意での実施です。本校では、(1)並びに(2)を実施しています。

(1)「自己評価」

学校職員による自己評価です。経営評価の参考とするための「保護者アンケート」「児童アンケート」を実施しています。

(2)「学校関係者評価」

「共興の教育を語る会」委員による評価で、(1)の自己評価結果を踏まえた評価となります。例年、後期に実施しています。

なお、(1)については公表の義務があり、公表は学校だよりやホームページを活用して実施しています。(1)、(2)については、教育委員会に報告の義務があります。

3 評価項目 ※詳細は別紙参照

(1) 職員の評価項目は昨年度と同様の21項目、職員と保護者の質問内容は同じものです。後期は質問内容はそのままに、評価対象が学校、教職員であることが明確になるよう設問を若干変更しました。

(2) 令和4年度より児童のアンケートを実施しています。

項目は、職員・保護者の質問項目に対応させています。

(3) 評価方法は、「思う」…4ポイント、「やや思う」…3ポイントの肯定的評価、「あまり思わない」…2、「思わない」…1ポイントの否定的評価とし、これらの平均値で評価しています。

※平均値は1ポイントから4ポイントの間となります。

4 学校評価（教職員自己評価）の結果の概要と考察

(1) R6年度前期との比較

①過去と同様の基準である「高評価＝3.25以上」に照らした場合は、21項目全てにおいて上回っています。また、R6年度前期に比べて13項目で向上していました。その中でも、特に大幅に向上（0.3ポイント以上）が見られた項目は以下の項目です。

- | | |
|--|-------------------|
| 1 3 「教職員は、子供に家庭学習の習慣が身につくよう指導している。」 | 3. 4 2 (+ 0. 6) |
| 8 「教職員は子供が挨拶や礼儀など基本的なマナーを身に付けられるよう指導している。」 | 3. 6 4 (+ 0. 5 6) |
| 9 「教職員は、子供に読書の習慣が身につくよう指導している。」 | 3. 6 2 (+ 0. 4 4) |
| 1 0 「教職員は、個別指導などの細やかな指導を根気強く行っている。」 | 3. 7 5 (+ 0. 4 2) |
| 1 2 「教職員は、子供のやる気を引き出すよう工夫した楽しい授業を行っている。」 | 3. 4 2 (+ 0. 3 4) |

項目8、9、13については、設問を「子供は、…してきている。」から、「教職員は、…している。」に変更したことが大きな理由だと思われます。同様に保護者の皆さんの評価も向上していることから、学校の取組について評価していただけているものと思われます。児童の自己評価が伴うよう、さらに工夫して取り組んでいきたいと思ひます。

上位3項目(4項目)については、「地域との連携」に関する項目18、19、20は、前期と同様です。本年度は「共興っ子と遊ぼう会」の実施等もあり、児童の自己評価の数値も向上しています。

また、項目5「感染症予防について」に代わり、項目1「学校は、交通安全指導や防災訓練など安全・安心な学校づくりを行っている。」が最上位になりました。集団下校時の危険等についての地域の皆さんや保護者の皆さんからの連絡に対し、すぐに対応し、組織として指導してきたことが理由の一つであると考えられます。児童の自己評価は下がっていますが、指導されたことを素直に反省していることの表れと捉えることもできます。今後とも子供たちの安全確保のため、情報提供をお願いいたします。

②努力を要する項目「= 2. 7 5 未満」は、前期同様にありませんでした。

課題となっている「読書習慣の定着」については、前期同様、学校支援ボランティア「読書おたすけ隊」の読み聞かせ活動や、図書整理、読書賞や暗唱賞、市立図書館との連携による、「司書さんの学年別おすすめの本」の配本、図書委員会児童による読書祭りや各種イベント等、様々な取組を行っています。

学校での読書の機会は確実に増えています。今回は、児童の自己評価もわずかではありますが向上しました。今後とも「家読」の取組への御協力をよろしくお願いいたします。

(2) 上位3項目と下位3項目について

職員の上位3項目と下位3項目は以下の通りです。(の項目は職員と保護者の回答が一致した項目)

【上位3項目】

- | | |
|-------|------------------------|
| ①学校経営 | 1 「安全・安心な学校づくり」 |
| ①地域連携 | 1 9 「保護者・地域への誠実・丁寧な対応」 |
| ②地域連携 | 2 0 「保護者・地域との連携・交流」 |
| ②地域連携 | 1 8 「学校経営・教育活動の情報提供」 |

【下位3項目】

- ①たくましく 16 「清掃指導・施設環境美化」
- ②かしこく 11 「学習規律の定着」
- ②かしこく 12 「楽しくわかりやすい授業の実施」
- ②かしこく 13 「家庭学習の習慣の定着」

職員の自己評価と保護者アンケート結果の相関は、前期と同様、「地域連携」に関する項目19、20が上位に入っています。学校と家庭、地域の連携・協働を大切にしている姿勢が、家庭にも伝わっているものと思われます。12月には、「共興っ子と遊ぼう会」が再開され、子供たちにとって楽しく豊かな体験をさせていただきました。コロナ禍前の遊ぼう会では、PTA役員さんにも豚汁の調理等、前日からお手伝いをいただいていたましたが、保護者には子供たちを見守りながら一緒に楽しんでほしいという地域の皆さんの考えで、今回のような形となりました。

一方、下位3項目（4項目）のうち3つは「かしこく」に関する項目でした。13「子供は家庭で学習する習慣が身に付いてきている」については、保護者、児童とともに低い結果となっていますが、若干の向上が見られました。2月には学力検査もあり、年間のまとめに自主的に取り組んだ子供たちが多く見られました。

教師の自己評価と、児童の自己評価の数値には、まだまだ差がありますので、より一層「楽しくわかる授業」「自ら学びたくなる授業」を目指していきたいと思います。

今回初めて最下位となった16「学校の施設や環境は、清潔で清掃が行き届いている」については、児童数の減少により、清掃が行き届かない面が出てきていることに対する思いが表れているように思います。清掃時間には、異学年の組み合わせで活動しているため、上級生と下級生の関わりを意識して指導しながら、教師自身も熱心に清掃に取り組む姿が見られます。先日の職員会議で清掃場所の担当学年や人数を見直す際にも、活発な意見交換が行われました。1月には外部講師（ダスキン株式会社）を招いての「お掃除教室」を1～3年生対象に実施しました。これからも子供たちとともに「きれいな共興小」を目指していきたいと思います。

5 保護者アンケートの回答について

学校評価については、昨年度よりインターネットを利用したアンケートとしました。保護者の回答数は、62名（児童数）中55名でした。御意見が書きやすいように記名については任意としています。本年度、設問の文言を変更しましたので、次年度以降は家庭数で御回答いただこうと考えております。

今回は、回答期間が短くご迷惑をおかけしました。

（1）肯定的な回答の割合について

各設問についての肯定的な回答、「思う」、「やや思う」の合計の割合は、21項目中17項目で90%を超えました。（前期比+5項目）設問の評価対象を変更したことにより、向上した項目が大きいと思われますが、全体的に高い評価をいただくことができました。今後とも保護者の皆様と力を合わせてよりよい教育を目指していきたいと思います。

(2) 自由記述での回答について

- 子供達がいつも元気に楽しく通える学校づくりをして頂きありがとうございます。
お陰様で、学校が大好きだとニコニコしながら教えてくれます。
- いつも子供たちのためにありがとうございます。卒業まで残りわずかですがよろしくをお願いします。
- たまに朝送迎するときに見かけるのですが、いつも校長先生が校門前で子供達を迎えてくれることに感謝しています。ありがとうございます。
- 先生方が子供1人にしっかりと向き合いトラブルがあっても、きちんと解決してくれるので安心して学校へ送り出せます。
- ⇒ 温かいお言葉ありがとうございます。教職員一同、とても励みになります。常々、学校は、子供たちが笑顔で過ごせる安全・安心な居場所でありたいと考えております。
- 学習や運動、清掃や係り活動、委員会活動等、そして、友達や様々な人たちとの関係づくり等、学校は子供たちにとって、たくさん頑張るところです。時には辛いことや悔しいこともあるかもしれませんが、それでも、毎朝、「今日もがんばるぞ。」という思いで登校したくなる学校を目指して、全職員で協力して1人1人の子供を大切にしながら育てていきたいと思ひます。
- また、子供の教育は「家庭と学校が両輪となって進めていくもの」と言われます。共興小の保護者の皆様には、本校の教育目標とそれに伴う取組に対し、日頃より御理解・御協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。気になることがありましたら、遠慮なく御相談ください。
- 昨年度よりも校外学習の回数が増え、子どもがとても喜んでおりました。成田空港の見学後、飛行機に興味を抱くようになったようです。来年度も、校外学習の機会をたくさんつくってください。
- ⇒成田空港の見学ツアーは、本年度から匝瑳市も対象となったものでした。抽選に応募した学校が多数あった中、参加することができたのはとても幸運でした。
- 市バスの利用回数は決まっており、(匝瑳市は他市に比べると、学校の使用できる回数は多い方です。)例年、利用可能回数を最大限利用しています。本年度は少人数のよさを生かして、八日市場特別支援学校との交流会に、ジャンボタクシーを利用(P T A 予算で補助)して、できる限り効果的な利用となるように工夫しました。今後とも、楽しく有意義な校外学習となるよう心がけていきたいと思ひます。
- クラスの人数が少ない為、活動の幅が狭まることも多いかと思ひますが、2学年合同の体育や縦割りでの活動は子ども達にとって有意義だと思ひます。なわとび集会の様子等を見ていると、縦割り活動の機会がさらに増えるといいなと思ひます。
- ⇒ 児童数の減少により、体育のボール運動等の実施内容に支障が出てきました。そこで、本年度から年間指導計画を2年単位のものに作り替え、学習内容が重複しないようにして合同体育を進めています。学年の枠を超えて刺激し合い、助け合いながら体育を楽しむ子供たちの様子が見られます。
- 縦割り活動については、清掃や長縄跳び、遊び等で取り組んできました。先日の職員会議で、さらに充実させるためにどうしたらよいかを話し合い、来年度は、縦割り遊びの機会を計画的に設けていく方向で考えています。

○HPをよく閲覧しますが、行事が終わるたび、すぐに活動の様子を更新してくださっていて、更新の早さにビックリ。活動の様子がよくわかります。更新を楽しみにしています。

⇒ 楽しみにしていただいて、とても嬉しいです。本年度6月にHPをリニューアルし、その後少しずつコンテンツを増やしています。リンク先には学力向上やネット利用等についての情報がありますので参考になさってください。

写真については、子供たちの顔があまり大きなサイズにならないよう気を付けながら、今後も学校での活動の様子をできるだけ掲載していきたいと思います。

○PTAの人数を減らしたことによって先生方や本部さんの負担が増え大変だったかもしれません。今年度も子供達が楽しく登校できたことに感謝致します。ありがとうございました。

⇒ P T A役員の皆様、地区役員の皆様には、日頃より大変お世話になっております。P T A役員数は減りましたが、子供たちの交通安全確保のために御協力ありがとうございます。また、地区役員の皆様には、本部役員の皆様と一緒に年2回の廃品回収に御協力をいただきありがとうございます。学校予算が縮減される中、廃品回収による利益と補助金は子供たちの教育環境の向上のための貴重な財源として大切に使用させていただきます。

前期の学校評価分析でも書かせていただきましたが、除草作業等は職員のみでの実施が苦しくなっています。そこで、次年度以降は、保護者の皆様にもお手伝いいただきたいと考えています。具体的には、P T A廃品回収の日に併せて、地区役員の皆様を中心に廃品回収、その他の保護者の方と教職員で除草作業を行うという案を検討中です。年2回のうち1回は御参加いただけると助かります。1回目は運動会前の5月10日（土）に、2回目は11月8日（土）に実施予定です。今後P T A本部の皆様と日程等を詰めていきたいと思います。どうぞ御理解・御協力の程よろしくお願いいたします。

○子どもたちはもちろん、保護者や共興地区のために、いつもありがとうございます。

▲他校と比較して申し訳ないのですが他校は夏休みの宿題で作文が無くなったり地区民運動会が無くなっているのに本校だけは続けている理由はなんですか？

正直無くしても良いと思います。他校の保護者は色んな面で負担が無くなったと聞きます。

⇒ 子供たちは、家庭や学校に加えて様々な人々との交流によって成長していきます。文部科学省では、「地域に開かれた学校づくり」「学校を核とした地域力向上プラン」等として、家庭と家庭、地域とが手を取り合って地域の結びつきを強め、子供たちの豊かな教育を進めていくことを求めています。本校でも、「地域とともにある学校づくり」を経営の中心に据えています。

共興地区はもともと地域の活動がとても盛んです。学校にも大変協力的で、今年度の「共興っ子と遊ぼう会」でも、子供たちのために楽しい企画を準備・運営してくださいました。コロナ禍の間は中止を余儀なくされた活動もありましたが、自主的な避難訓練等、実行可能な方法を模索して継続されていました。また、日頃より子供たちの安全な登下校のために御協力いただいております。

地区民運動会については、昨年度より再開されましたが、その目的の中には、「共

興地区民が一体となり、相互の親睦を深め、地域の人々のふれあいを育む集い」と述べられています。少子化が進む中、地域の交流の大切さが見直されています。学校としても、こうした地域の力を子供たちの教育に生かしていきたいと考えています。また、地域にとって学校が果たす役割についても、コミュニティスクールの仕組みを活用して協議していきたいと考えています。

保護者世代は共働きの御家庭が多く、なかなか地域の活動に関わることは難しいかもしれませんが、御理解・御協力いただけると助かります。

夏休みの宿題については、昨年度に「多いのではないか。」との御意見をいただきましたので、本年度、近隣の学校に情報収集し、精選を図ったところです。具体的には、高学年の作文と読書感想文について、1つを選択できるようにした他、ポスター等の応募についても精選しました。復習ワークについては、保護者の方に採点をお願いしている部分がありますが、これはお子さんの学習の状況を把握していただくためです。最終的には担任が確認をいたします。

保護者の皆さんに夏休みはありませんので、お時間をとるのは難しい面もあるかと存じますが、御理解、御協力の程よろしく願いいたします。今後ともこういった部分のご負担となっているのか知らせていただき、検討していきたいと思えます。

▲以前、子供がアンケートに記載しましたが、校外学習の際にお弁当についてみんなの前で批判されました。子供も傷つきましたし、親としても子供の好きなものを詰めたので、非常に悲しい気持ちになりました。趣旨は理解しているつもりですが、普段の給食で好き嫌いなく、バランスよく食べるという指導をしていただければと思います。よろしくお願いします。

⇒ 健康のため栄養バランスのよい食事ができるよう、学校では給食の時間や家庭科の学習について指導しています。

しかし、今回、校外学習の際のお弁当についてまで指摘したことは、お弁当を楽しみにしていたお子さんや我が子の喜ぶ姿を考えながら作ってくださった家の方の気持ちを傷つける行きすぎた指導であったと反省しております。配慮が足りず申し訳ありませんでした。

▲マチコミから出欠の連絡が出来るようになると良いと思います。中学とかは出来るので。

⇒ マチコミメールを利用した欠席連絡については、多くの学校で採用されています。採用の理由としては、児童数の多い学校では、欠席の連絡も多く、始業前の時間に電話がパンク状態になってしまうことがあることや、教頭の業務改善の為です。

本校の場合、児童数が少なく電話回線も2本あるため、そういったご不便をおかけすることは少ないのではないかと思います。本校でもマチコミメールのシステム上、欠席連絡の機能を利用することは可能ですが、学校としては、お電話で直接話すことにより、欠席児童の様子や御家族の様子や保護者の考え等をできるだけ正確に、早めに知りたいという願いがあります。朝のお忙しい時間帯ではあらうと思われませんが、ご協力いただけると助かります。